「県内の企業収益改善」

飯塚・東海財務局長が見解

本社来訪

7月に東海財務局長に就いた飯塚厚氏（56）が2日、岐阜新聞本社を訪れ、馬渕貴好常務、桐山圭司編集局長と面談した。東海、県内の経済情勢について「製造業のウエートが高く好調。個人消費、企業収益、設備投資とも、濃淡はあるが以前よりよくなっている」との認識を示した。



「合併、再編は有力な選択肢」などと語る飯塚厚局長＝岐阜新聞本社

地銀再編の動きについて「各金融機関は人口減少や社会情勢の変化をとらえて経営戦略を議論、判断することが重要。その中で再編、統合は重要な選択肢の一つ」との考えを示した。その上で来年1月に合併する大垣信用金庫と西濃信用金庫について「将来を見据えた判断。高く評価したい」と述べた。

就任に当たっては「経済界や自治体の声をよく聞き、国との橋渡し役になる」と語り、来年開催の主要国首脳会議（伊勢志摩サミット）についても「三重県勤務の経験、ネットワークを生かし、地域の魅力を発信したい」と意気込んだ。

無断複製・転載を禁じます